

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ千波支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0%	75%	25%	・ダンス時に狭いと感じるが教室全体のスペースを使用して行っている。
	② 職員の配置数は適切であるか	0%	75%	25%	・利用者の人数に応じて配置を行っている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	75%	25%	・利用者入口、トイレに若干の段差がある。利用者に寄っては付き添っている。
業務改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	25%	50%	25%	・話し合いは都度行い情報共有、支援統一の為、参画している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・アンケート結果を全職員が把握して保護者、利用者の意向について話し合い改善に向けて取り組んでいる。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	33%	0%	・公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33%	67%	0%	・第三者委員会を設置している
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	100%	0%	0%	・外部講師を招き全体研修を行っている。 ・教室での研修、外部での研修を行っている。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	100%	0%	0%	アンケート、個別面談、送迎時の聞き取り等で子ども、保護者のニーズや課題を話し合っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	33%	0%	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	0%	・カリキュラム担当を決め事前にMTを行っている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	67%	33%	0%	・固定しているプログラムもあるがマンネリ化しないよう日々工夫をしている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	・カリキュラム委員会で会議をし利用者が楽しめる工夫をした活動プログラムが組んでいる。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	33%	67%	0%	・利用者の状況把握、周知事項等の申し伝えを行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%	・送迎終了後に一日の出来事や、保護者とのやり取り、気になった事等を毎日話し合っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・活動の様子や気になる事等、日々記録している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・定期的に行っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	67%	33%	0%		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%		

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	・送迎時、連絡網などから連絡調整を行っています。 ・急な変更等は、学校、保護者に電話で確認を行っています。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	67%	0%	33%	
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	・弊社の児発から放デイに進級時には、書類等申し送りがあります。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	67%	33%	0%	・弊社内であれば、書類等申し送りをしています。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	67%	0%	
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0%	33%	67%	
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	0%	67%	33%	・こども部会に参加をしている。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・送迎時に様子
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	33%	33%	
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	・契約時に説明を行っている。疑問や分からないことには随時滞欧をしている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	67%	33%	0%	・日頃の関りの中で話しやすい環境、関係性を作り保護者と一緒に考え適切な助言と支援を行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	33%	0%	・保護者会の開催や発表会等で保護者同士の合う機会があります。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・主任、管理者を中心に状況を整理し迅速に対応をしている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・HUG又は、用紙でお知らせをしている。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・毎年書を頂いている。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%	0%	・筆談や指文字で情報伝達をしている。
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	67%	0%	33%	・フェスティバルを開催し学校等にチラシでお知らせをして参加を促している。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	・各教室にBCP委員を配置し保護者、職員に周知を行っている。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・年二回の避難訓練を行っている。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	・事例について各教室で話し合った結果を毎月虐待委員会で話し合っている。職員全体研修も外部から講師を招き行っている。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	・説明をして毎年同意書を頂いている。
非常時の対応	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	33%	33%	33%	・契約時に確認をしている。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	・他教室での事例を基に共有をし話し合いを行っている。